

# ガラス人と 格別の酒。



営業部の高橋は、中国に飛んでいた。これからの5G時代を支える「光通信ガラス」の販売拡大を中国で、という重要案件を任されたからだ。彼は、地元滋賀に日本電気硝子の工場があったこともあり、小さなころからここで働くことを夢見ていた。その夢が叶い、任された大きな仕事を「絶対に成功させたい」、そう強く考えていた。毎月のように現地訪問し、多くの企業と粘り強く交渉した。時には、利益よりもシェア獲得をめざして行動。自社の製造工場との調整にも四苦八苦した。難題を突き付け「ムリムリ…」と跳ね返されることも何度あったか。それでも、最終的になんとかうなずいてもらい、顧客との交渉を進めることができた。

結果見事、ある大口顧客での採用が決定。その後も順調にシェアを伸ばし、売上げ拡大を実現できた。達成感、安堵、そして感謝。そんな気持ちをひっきりぬめて飲みを爆発させたのは、無理を聞いてくれた現場担当者と酒を酌み交わした、その時だった。

特殊ガラスで、  
感動や喜びある  
未来へ。

さらによく詳しい情報は  
こちらへ！

